

将来ビジョン検討会議（都市と地方の連携） 論点（案）

テーマと方向性	議論のポイント	
<p>「都市と地方の連携」 今後10年間の政治・社会・行政の変化を踏まえて、都市と地方の望ましい姿とそれを支える仕組みを検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政治、社会、行政の現状と変化 ・都市と地方の望ましいあり方と農山村の活用 ・都市と地方が共存する政治、社会、行政システム ・国と地方の役割 <p>⇒ 人と人とのつながりを原動力とした地域交流・社会参加を進め、地域社会の活力を向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・官と民との新しい共動システムの促進 ・都市に集積した人材や資源、資金を地方に循環させる新たな仕組みづくり 	<p>人口の流動化促進</p>	<p>○人口の社会移動は今後拡大するのか、縮小するのか。 ○大都市圏人口比率が高まる（特に首都圏一極集中が進む）という推計がある中で、地方の活力をどのように維持するのか。 ○都市と地方間の人動きを活発化させるための方策は何か。 ○「ふるさと」への帰住を促進するための新たな方策は何か。 （学生のUJ1ターン、「新ふくい人」の誘致など）</p>
	<p>人の交流促進</p>	<p>○都市と地方との人の交流（観光誘客、農山漁村と都市との交流など）を活発化させるために、どのような地域資源を活用するのが有効か。</p>
	<p>地方分権と新しい国土構想</p>	<p>○都市と地方が新しい関係を築くためには、どのような仕組みが必要か。 （地方交付税等の税制、地方行財政のあり方等） ○都市と地方が新しい関係を築く上で、国と地方はそれぞれどのような役割を担っていくべきか。 ○国土の均衡ある発展を目指すための新しい国土構想にはどのような視点が必要か。（高速交通ネットワークの構築など）</p>
	<p>都市と地方の新しい関係</p>	<p>○都市と地方の格差は、今後どのような分野で拡大・縮小していくのか。 ○都市と地方は今後どのような関係を築いていくべきか。 ○北陸、中部、近畿各圏との広域的なネットワークを持つ福井県が果たすべき役割は何か。</p>
	<p>ふるさとへの貢献</p>	<p>○個人や企業の「ふるさと」への気持ちや思いを活かすための仕組みや方策は何か。（「ふるさと納税」制度の普及、個人資産の社会的承継〔寄託、遺贈〕など）</p>